

令和5年2月3日

報道機関各位



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

鉄道駅構内における給水機設置実証実験の結果報告と給水機の本格設置について

1 内容

NATS4市(西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市)及びウォータースタンド株式会社は、マイボトルの利用促進及びプラスチックごみの削減を目的として、令和4年9月13日(火)から11月11日(金)までの約2ヶ月間、阪急電鉄株式会社の協力を得て阪急電鉄4駅の構内にマイボトル専用の給水機を設置し、駅利用者にとりだけ利用されるかの検証や駅への給水機設置に関する課題の抽出を行うための実証実験を実施しました。

その結果、一定数の駅利用者による給水機の利用が確認でき、また、駅利用者へのアンケート調査結果から「マイボトルを持つきっかけになる」など好意的な意見が多く、駅への給水機設置により行動変容を促す効果が期待できるという良好な結果が得られました。



写真. 4駅への給水機設置の様子(左から順に、西宮北口駅、園田駅、岡町駅、北千里駅)

今回の実証実験で得られた成果や課題を今後の給水スポットの普及に活かし、NATS4市はマイボトルの利用及びプラスチックごみの削減を促進してまいります。

2 実証実験結果(概要) ※詳細については、NATS4市のホームページに掲載。

(1) 実証実験期間における給水機利用実績(4駅合計)

- ・ 給水量 8,293L (500mL ペットボトル 16,586 本相当) ※1日平均 139.6L
- ・ 推定利用率 約 0.34% (駅利用者 1万人あたり 34人)

(2) 給水機設置によるペットボトル削減効果及びCO2削減効果(推計)

今回実証実験を行った4駅に給水機を継続して設置した場合、年間 46,621L (500mL ペットボトル 93,242 本相当)の給水が見込まれ、約 9.8t/年のCO2削減効果が期待できる。

(3) アンケートの主な意見

- ・ よく利用する施設に給水機の設置が増えれば、マイボトルを持ち歩くようになる。
- ・ 他の駅にも設置して欲しい。 ・ 常設して欲しい。 等

3 給水機の本格設置について

今回の実証実験にご協力いただいた阪急電鉄株式会社が、実証実験の結果を踏まえ、上記4駅への給水機の本格設置を決定されました。詳細については、阪急電鉄株式会社のリリースをご参照下さい。

(阪急電鉄株式会社 広報部 TEL:06-6373-5092)

西宮市	環境局	環境事業部	美化企画課
尼崎市	経済環境局	環境部	環境創造課
豊中市	環境部	減量計画課	
吹田市	環境部	環境政策室	
ウォータースタンド株式会社(西宮営業所)			

担当: 藪内	電話: 0798-35-1571
担当: 宗和	電話: 06-6489-6301
担当: 永富	電話: 06-6858-2279
担当: 小山	電話: 06-6384-1702
担当: 丸山	電話: 0798-31-2445